

2019年度 こばと保育園 事業活動方針

現在、子どもの悲痛な叫びに寄り添えず痛ましい事件が起きています。どうか手立てがなかったのかと心痛む日々でした。子どもは親を選べません。どうして虐待をするのか、虐待をする人はどこでつまずいたのか、幼少の頃なのか…根源を見つけ出さない限り、また同じことが繰り返されるのではないかと危惧します。

私たちは子ども達に、自分を認める自己肯定感、善悪の判断、相手への思いやり(相手の身になって考える)、共感する、共同性、忍耐力等 人間形成の基礎となる部分を丁寧に繰り返し育てていく使命を担っていることを強く心に持ち保育にあたらなければならぬと考えています。引き続き保護者支援や地域社会との連携も努めていきたいと思えます。

1. 保育理念

社会福祉法人 春風会の運営するこばと保育園は、「子どもの最善の利益」を第一として家庭や地域と連携を図り子どもの発達を促します。

職員は、子どもたちの目線に立ち、共感しながら一人ひとりに応じた保育を、安心と安全と信頼に満ちた環境の中で愛情を持って支援します。

ひとりひとり違う個性を重んじ、「自己肯定感」を育て、また、共に育ちあう人間関係を、さまざまな「体験」を通して豊かに育みます。あわせて、地域の子育て世代への支援など社会的役割を果たします。

2. 保育目標

- * じょうぶな身体、しなやかな手足、命を大切にする子ども
- * ともだちとのふれあいの中で、仲間を大切にする 思いやりのある子ども
- * ありのままを見つめられる目、要求をはっきり言える口、豊かな感情を持った子ども
- * ともだちとよく遊び、働くことの喜びを感じ、最後までやりぬく子ども

3. 「こばと」がめざす保育(基本方針)

1. 児童憲章、児童福祉法に基づき、「子どもの最善の利益」のために、その福祉を積極的に進める保育を提供します
2. 「保育所保育指針」の内容を実践します
3. 乳幼児は、子どもが生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期なので、保育

園のもつ質の高い養護や教育の機能を活かしその向上に努めます

4. 児童の家庭等における生活に目を向け、保育園では誰もが分け隔てのない豊かな文化が享受されるように努めます
5. 地域の教育力を高めるための取り組みを積極的に行います。子育て相談や、親子で参加出来る園庭開放(親子リズム)、講演会や懇談会等に取り組みます
6. 安全な「食」を提供し「食育」を重視し、野菜作り、クッキングなど計画します
7. 保育園と学童や高齢者との交流をさらに広げます
8. 全ての職員の人格と専門的力量を高めるため、計画的な研修に取り組みます
9. 平和教育に取り組みます
10. 「人権」への意識を高め、人権を侵す「虐待」は、早期に発見し、保護者を支えるよう援助します
11. 小学校との円滑な連携を図ります

4.保育内容

***0歳児から5歳児まで、年齢ごとの発達課題を大事にし、保育を豊かに実践します**

個性豊かな一人ひとりを大切に行き届いた保育、育ちあう仲間を大切にした保育を目指します。同年齢の横のつながりだけではなく、憧れる上の年齢や、世話をしたい下の年齢との関わりを大事にし、集団保育を通して豊かに育つように援助します

***身体づくりに積極的に取り組みます**

リズム運動、運動遊びを中心に正しい姿勢や歩行、バランス感覚が育つような取り組みを行います。散歩、園外保育などを通して、自然に触れながら身体も心もたくましくやりたい活動を自ら見いだせることができるように育てます

***安全で美味しい「旬」の物を提供し、積極的に「食育」に取り組みます**

無農薬の「あいがも」米や「旬」の食材、行事食の取り入れ、クッキング体験を行います。縦割りクラスでの「会食」など楽しい取り組みをします。食の大切さを絵本、紙芝居、お話し等で年齢に応じた食育を進めます。管理栄養士の専門性を発揮し「食」へのアドバイス、アレルギーへの対応をします

***「子育て支援」につながる取り組みを積極的に行います**

「子育て」を楽しめるように、保護者同士が繋がりあえるようにクラス懇談会を行います。子育て講演会、園庭開放、親子リズムなどを提供し子育てを支援します
園だよりや掲示による子育ての情報を提供します

***園児が健康に成長できるよう健康管理に努めます**

児童健康診断（小児科医）と歯科検診（歯科医）を年2回実施します
看護師より保健にかかわる情報の提供をします
年間を通した手洗い・うがいの徹底、あいうべ体操(鼻呼吸)の継続に努めます
保育室の環境整備(室温・湿度・換気・空気清浄機)を行います
園庭や戸外活動での環境整備(紫外線・環境汚染の対応)を行います

***併設の「学童クラブ」や高齢者の方々と交流をひろげます**

夏休み恒例学童主催の「ソーメン流し」や、年長組は見学や一緒に遊び交流をします。
青葉苑や戸町ふくし村の高齢者の方は、同じ敷地なので、自由な交流ができるように工夫していくと共に、広く地域の方との交流にも目を向けて行きます

***平和教育に取り組みます**

紙芝居、絵本、DVDを見て、平和について考える機会を作ります。
人と人とのつながりや思いなど、日頃の生活の中で起こる事象を取り上げて子どもが理解できるように話しをします

***虐待の早期発見と予防、関係機関との連携を図ります**

子どもの態度や様子などを観察し変化があるときは速やかに関係機関と連絡を取り合います。また、保護者へのサポートを充実させます

***質の高い保育を目指します**

職員は県内・県外の研修会に積極的に参加し、保育の専門性を高めます
研修委員会を中心に園内の研修を充実します

***小学校との連携を図ります**

年長児の学校訪問交流をおこなったり、就学前には情報交換を行います
幼保小連携会議、子どもを守るネットワークへの会議に参加します

5.<クラスの年間目標>

ひよこ（0歳児）組

無償の愛で子どもを丸ごととらえ発達も見よう

- マッサージや赤ちゃん体操でリラックスさせる
- 特定の保育士のかかわりにより信頼関係を築いていく

- 一人ひとりに応じて活動と休息のリズムを整えていく
- 清潔になることの心地よさを感じる

- 静かな環境を大事に、優しい肉声で語りかける
- 絵本やわらべ歌を大人と一緒に経験し、心地よさを知る

- 安心できる人的、物的環境の下で感覚の働きを豊かにする
- 身のまわりのことに触れたり味わったり、豊かな感覚を経験する

- 安定した情緒でゆっくり離乳をすすめる
- さまざまな食品の味になれる

- 安全な保育環境づくりに留意し、月齢ごとの発達を促す「遊び」を工夫し、他の園児との関わりあいを大切にする

りす（1歳児）組

自己主張をぶつけられる、安心できる関係づくり

- 自分で何でもしたいという時期その気持ちに寄り添う
- 保育士とのかかわりの心地よさや安心感を得るように接する

不快感の状態を保育者が言葉で伝えながら、自ら意識できるようにしていく

丁寧な対話を大切にし、絵本の読み聞かせの時間を大事にする

- 好きな玩具や遊具に興味をもって十分な探索活動をする
- 自然に触れかかわったことで物が変化することに興味をもつ

様々な食品や調理形態に慣れゆったりとした雰囲気の中で食べる楽しさを味わう

- 自分でやりたい気持ちにできる限り寄り添い自分を主張することを認める
- 身の回りに様々な大人や子どもがいることに気づき、真似してあそんだり自ら関わろうとする

うさぎ（2歳児）組

偉大なる模倣者 ～ みたてて想像して遊ぼう

他児と関わって、みたて遊び・つもり遊び・ごっこ遊びを豊かにする

- ・発達にとって適切な生活リズムを整える
- ・自分でしたくなるような援助をする

- ・保育士や友だちと言葉のやり取りを楽しむ
- ・実際に見たことや感じたことを自分の言葉で伝える

- ・自然に触れ、発見したり、面白がったり、生き物や植物を身近に感じる
- ・散歩などの全身運動、土、砂、水に触れる遊びを十分におこなう

楽しい食事に心掛け、自分で食べられる量を見通し完食出来ることを大切にする

- ・反抗期「依存しつつ自立する時期」児童との関係づくりを丁寧にする
- ・保育士の受容的、応答的な係わりの中で、欲求を適切に満たし安定感を持って過ごす

きりん（3歳児）組

自己主張する3歳児に寄り添い 自己主張を援助する

散歩や運動遊び・リズムなど全身運動を伴う楽しい遊びを保障する

- ・ごっこ遊びを楽しみ友だちとのつながりを深める
- ・言葉のやり取りやケンカをしながら相手の気持ちに気づいたり、譲りあったり仲直りしたりする

- ・したい事、してほしくない事してほしい事を言葉で伝えようとする
- ・絵本やお話を聞きながら、イメージを膨らませ、お話の世界を楽しむ

自然に触れ発見や不思議に思ったり色々な素材に触れ道具を扱う楽しさを経験する

- ・献立の食材の名前などを通して「食」に興味関心を向けるようにする
- ・食事の時間を楽しみにし、自分から手を洗い席で待つ

- ・個人差が大きい時期なので まず、出来ることを出発点にし自立へつなげる
- ・身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でする
- ・3歳半健診で保護者と共に健康チェックをする

ぱんだ（４歳児）組

仲間の中で 自分に気づく

体力づくりや鍛錬、全身運動を伴う楽しい遊びを保障する

- ・手洗い、うがい、歯磨き指導をする
- ・基本的な生活習慣を身に付ける

言葉で表現できる範囲が広がり経験したこと、感じたこと、思っていることを話す喜びを知る

- ・四季折々の自然物で遊ぶ楽しさを知る
- ・素材の性質や道具の仕組みがわかり豊かな活動をする

- ・盛り付けられた量はしっかり食べ、満足感で食事を終える
- ・食材に興味をもつ・箸を正しく持ち、姿勢よく食事をする

- ・共有できる活動、生活をもったクラスの集団作りを大切にする
- ・自己を十分に発揮したり、友達と協調して生活をするを楽しむ
- ・自他との比較で自尊心が傷つく時期なので言葉かけに注意する

くじら（５歳児）組

豊かな遊びの中で生活習慣を確立しよう

クラス集団の中で、伝承的な遊びや挑戦的な遊びを豊かにする

自分で自分の身体の健康を管理する基礎を作る

- ・みんなで話し合い決めたり、解決したりする
- ・自分の思いを相手に分かるように筋道を立て話す
- ・絵本、紙芝居の登場人物の気持ちを想像する

- ・四季折々の自然物を遊びや活動に取り入れ自然の素敵さや大切さを感じる
- ・遊びや活動に必要な素材や道具について考え積極的に取り入れる

食品を加工して食する文化を作ったことを、クッキングや農作業を通して体験する

- ・一人ひとりが尊重される関係の中で、見通しを持った課題設定をしながら集団の中でどの子ども達成感と自信を持てるようにする
- ・他者に対して思いやりを持ち、自分に対しては自己肯定感を育て、自立心を高め就学への意欲を持つ

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ・健康な心と体・自立心・共同性
- ・道徳性規範意識の芽生え・豊かな感性と表現
- ・社会生活との関わり・思考力の芽生え
- ・数量や図形標識や文字などへの関心・感覚
- ・自然との関わり生命尊重
- ・言葉による伝え合い

幼児期に育みたい資質能力

- ・思考力、判断力、表現力などの基礎
- ・知識及び技能の基礎
- ・学びに向かう力、人間性など

6.年間保育計画（行事等）

- 【4月】 入園・進級式 歓迎遠足 青葉苑と交流 誕生会 帆船まつり
- 【5月】 こいのぼり制作 ファミリーデイ 親子リズム 青葉苑と交流
誕生会 子育て講演会
- 【6月】 歯科検診(1回目) 児童健康診断(1回目) 芋の苗差し 親子リズム
青葉苑と交流 誕生会 交通安全教室
- 【7月】 セタ 小ヶ倉プール 平和行進 親子リズム 干潟体験
青葉苑と交流 誕生会 おとまり保育（年長児）
- 【8月】 小ヶ倉プール 平和映画 学童とソーメン流し 誕生会 青葉苑と交流
- 【9月】 敬老会交流 運動会 誕生会 青葉苑と交流
つるみ秋祭り(年長組出し物) 親子リズム
- 【10月】 児童健康診断（2回目） バイオパークバス遠足 青葉苑と交流
芋ほり 誕生会
- 【11月】 誕生会 青葉苑と交流 親子リズム 交通安全教室
- 【12月】 保育発表会 クリスマス会 誕生会
- 【1月】 お正月遊び 歯科検診(2回目) 誕生会
- 【2月】 節分 青葉苑と交流 誕生会
- 【3月】 お別れ遠足 お別れ会 親子リズム 卒園式 誕生会

7.クラス構成と職員配置

【ひよこ組】	0歳児	(予定 2名)	保育士配置	2名	(1名は看護師)
【りす組】	1歳児	(予定 10名)	保育士配置	2名	
【うさぎ組】	2歳児	(予定 14名)	保育士配置	3名	
【きりん組】	3歳児	(予定 10名)	保育士配置	1名	
【ぱんだ組】	4歳児	(予定 12名)	保育士配置	1名	
【くじら組】	5歳児	(予定 14名)	保育士配置	2名	(1名は加配)

園長 1、主任保育士 1、看護職 1、管理栄養士 1、調理員 2、運転手 1
代替フリー 2、事務 1

8.運営費

(1) 基本単価 公定価格

- ① 定員 60 名 (100 分の 3 地域)
- ② 保育必要量区分 (標準時間 11 時間・短時間 8 時間)
- ③ 処遇改善等加算
- ④ 施設長設置
- ⑤ 三歳児配置改善加算
- ⑥ 療育支援加算
- ⑦ 事務職員雇上加算
- ⑧ 主任加算
- ⑨ 施設機能強化推進費加算
- ⑩ 小学校接続加算
- ⑪ 栄養管理加算

(2) 民間保育所実施事業費補助金

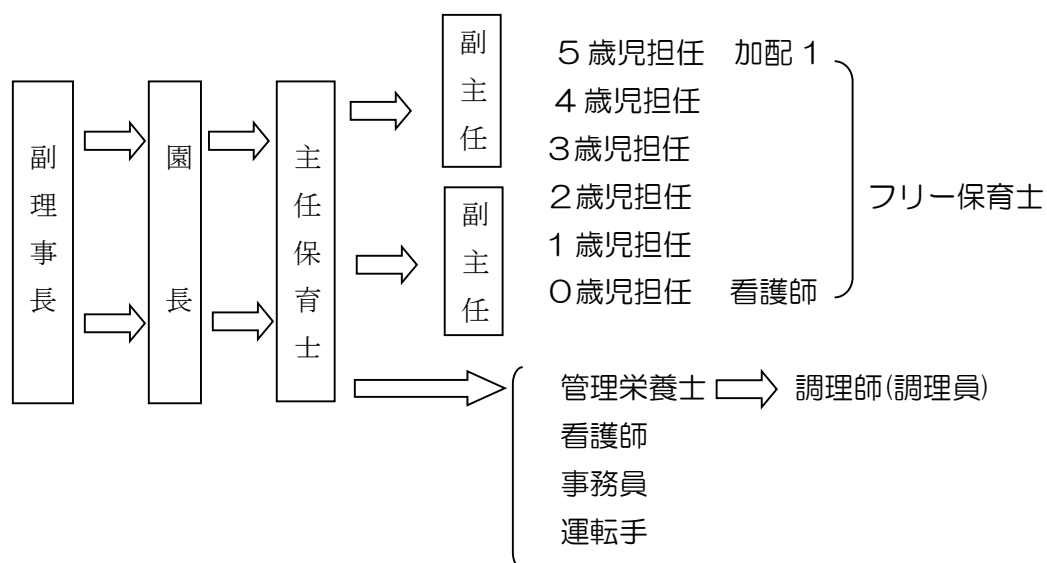
- ① 一時保育促進事業
- ② 延長保育促進事業
- ③ 障害児保育事業
- ④ 発達促進保育特別対策事業

(3) 民間保育所運営費補助金

- ① 運営費事務費
- ② 乳児受入促進雇用費
- ③ アレルギー児対応費

- ④ 保育士処遇改善費
- ⑤ 保育環境改善費
- ⑥ 傷害保険加入費
- ⑦ 看護師雇上費

9.組織



1) 会議

- ・管理会議 月1回 (副理事長、園長、主任保育士、学童管理者、務)
- ・職員会議 月1回 (随時)
- ・給食委員会 月1回 (主に献立検討会)

2) 委員会 (給食・保健・研修・事故防止・苦情)

- ・各委員会は、年間計画を立てて、活動をし、定期的な会議を設定する
- ・各委員会は、積極的に研修などを計画するなど、情報を発信していく

3) 地域活動

- ・戸町中学校区青少年育成協議会や、小中学校の行事に積極的に参加する
- ・地域の子どもを守るネットワークの安全指導、パトロール等に積極的に参加する
- ・「戸町ミルネ」に参加する
- ・中学校の職場体験及び保育士養成校の学生を受け入れる

- ・戸町みらいまちづくり協議会へ参加し、地域福祉活動に貢献します。
- 4) 保護者会
 - ・園の良き伝統として保護者会活動が活発で、保育園の特徴となっている活動への協力（会議の時の保育等）や、援助を積極的に行ない、支え合っていく関係を大事にしていく
 - ・子育て講演会を、保護者会とともに成功させるように取り組む
 - 5) 園外、園内研修
 - ・園外研修に積極的に参加したり、園内研修の充実を図り、保育の質の向上に努める
 - 6) 保育環境
 - ・施設内外の設備、用具などの清掃及び消毒を行う
 - ・現在の砂場は冬場極寒で遊ぶことが出来ないので、五感や背筋力を育てるために、通年遊べるように午前中日当たりの良い場所を確保し、現砂場と両方活用する
 - 7) 広報活動
 - ・園オリジナルのパンフレット作成(今年度は必ず作成する)
 - ・外部から園の所在が分かるように、園舎または敷地内・外に園名標記
 - ・園バスが昨年4月よりオリジナルのラッピングで大型にリニューアルされたので宣伝の役割となる
 - 8) 安全管理
 - ・危機管理マニュアルの職員へ周知及び非常時に備えた訓練をする
 - ・遊具の安全点検・遊具の安全な使い方の指導をする
 - ・セコムの防犯カメラを設置し、外部からの侵入を防ぐ
 - ・張り紙などで、視覚に訴え、防犯に備える
 - 9) 職員健康管理
 - ・メンタルヘルスチェックを1年に1回行う
 - ・健康診断 年1回行う(がん検診：希望者のみ…事業所負担)
 - ・インフルエンザ予防接種
 - 10) 監査
 - ・長崎市幼児課による一般指導監査を年1回受ける